戸別訪問による公共交通沿線住民への利用促進啓発活動の普及へ向けた取り組み

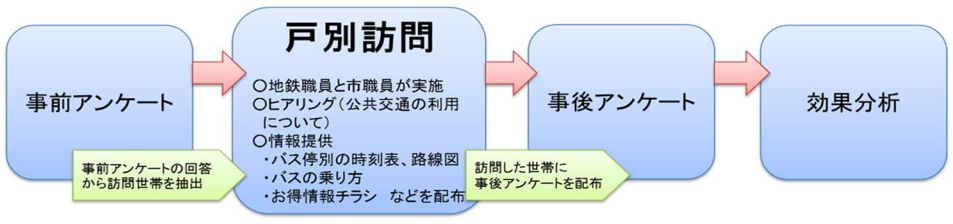
富山市、富山地方鉄道㈱、㈱計画情報研究所

・沿線人口が多いにもかかわらず公共交通の利用が少ない地区を対象に特定の駅やバス停付近の住民を対象にアンケートや 戸別訪問を実施

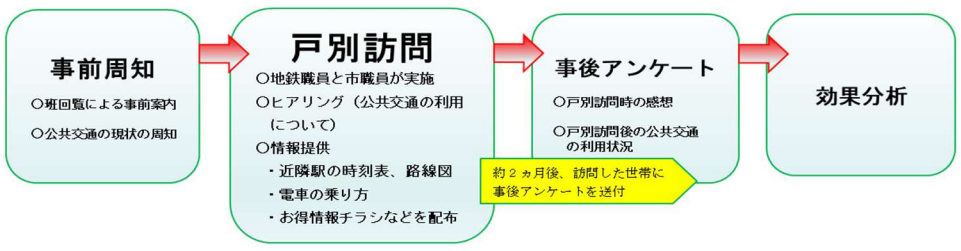
・交通事業者において独自に訪問活動が行えるよう、効率よく効果を挙げられる モビリティ・マネジメント手法を分析しマニュアル化

1．戸別訪問による利用啓発活動の概要

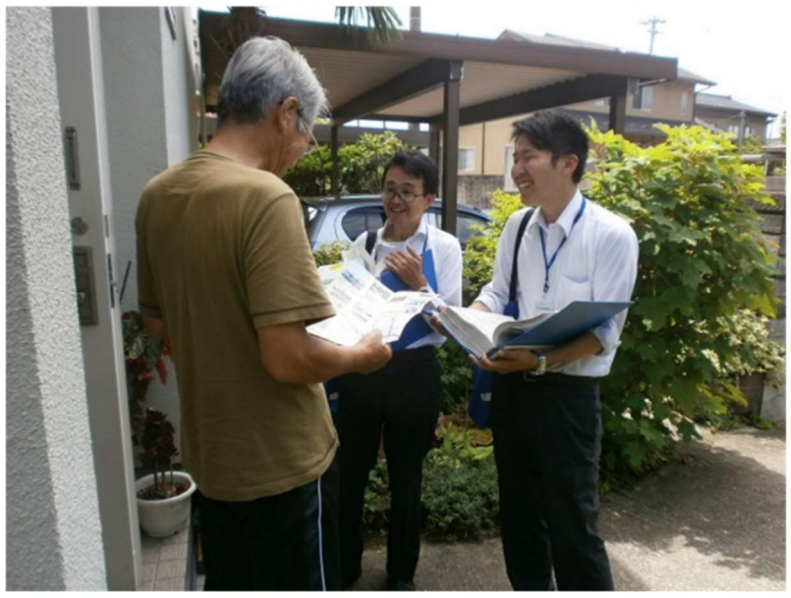
（1）フルセットTFP方式（H28、H29）



（2）ローラー方式（H30）



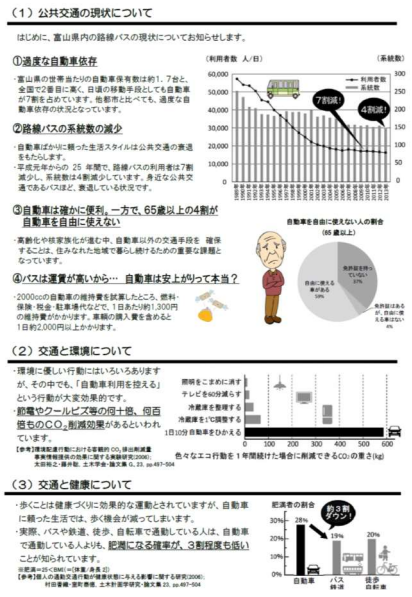
〈事業の流れ〉



〈戸別訪問の様子〉

2．利用啓発と各種情報提供　～公共交通利用の状況を伺いながら、対象者に合わせたツールの提供～

☆自家用車から公共交通への転換



☆バス停付近への駐輪場の整備

☆対象地域に特化した時刻表・マップ

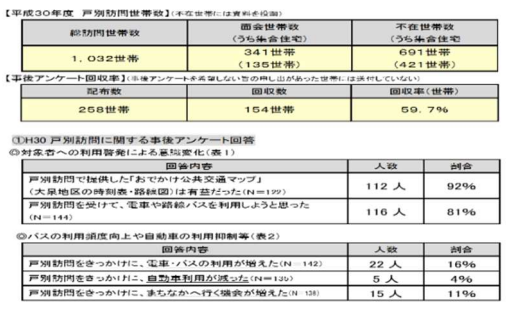
3．主な実績と利用啓発活動の実施効果

☆対象世帯と訪問世帯数

対象年度	アンケート配布世帯	回答世帯	戸別訪問世帯
平成28年度（中市・分田）	4,500世帯	914世帯	205世帯
平成29年度（藤ノ木循環）	4,996世帯	1,479世帯	368世帯

対象年度	対象世帯	訪問世帯	戸別訪問世帯
平成30年度（大泉駅周辺）	2,000世帯	1,032世帯	341世帯

☆事後ｱﾝｹｰﾄによる効果把握



【平成30年度　戸別訪問世帯数】（不在世帯には資料を投函）

総訪問世帯数	面会世帯数（うち集合住宅）	不在世帯数（うち集合住宅）
1，032世帯	341世帯（135世帯）	691世帯（421世帯）

【事後アンケート回収率】（事後アンケートを希望しない旨の申し出があった世帯には送付していない）

配布数	回収数	回収率（世帯）
258世帯	154世帯	59．7%

①H30 戸別訪問に関する事後アンケート回答

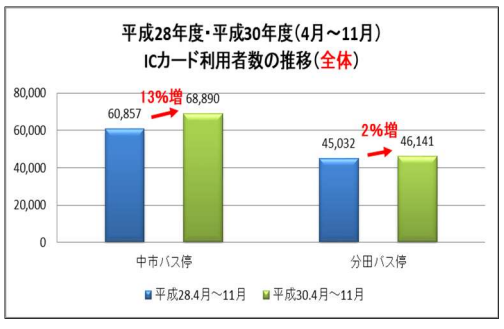
◎対象者への利用啓発による意識変化（表１）

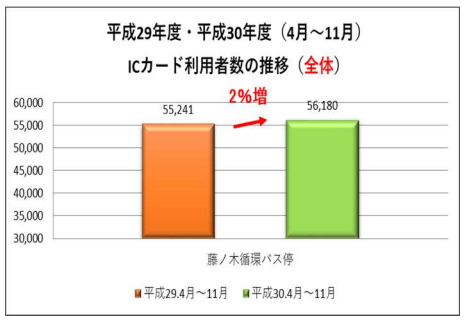
回答内容	人数	割合
戸別訪問で提供した「おでかけ公共交通マップ」（大泉地区の時刻表・路線図）は有益だった（N＝139）	112 人	92%
戸別訪問を受けて、電車や路線バスを利用しようと思った（N＝144）	116 人	81%

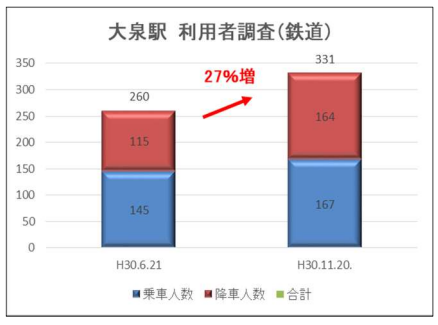
◎バスの利用頻度向上や自動車の利用抑制等（表２）

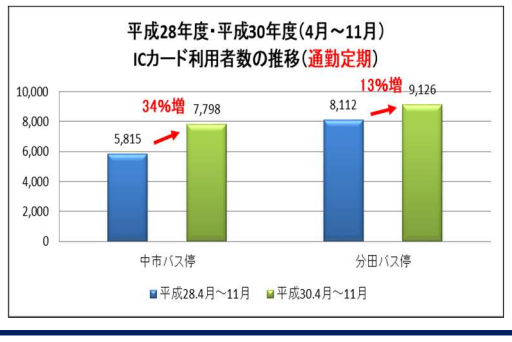
回答内容	人数	割合
戸別訪問をきっかけに、電車・バスの利用が増えた（N＝142）	22 人	16%
戸別訪問をきっかけに、自動車利用が減った（N＝139）	5 人	4%
戸別訪問をきっかけに、まちなかへ行く機会が増えた（N＝138）	15 人	11%

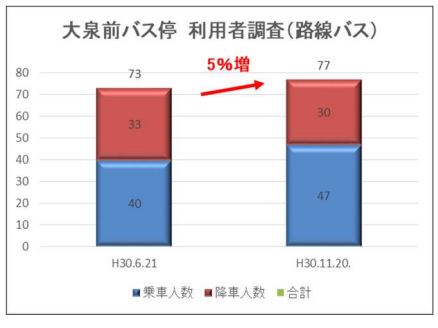
☆戸別訪問による利用啓発活動実施地区において利用者が増加











4．「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」の作成

☆導入に必要な期間や必要な人員を例示

〈手続きフロー〉

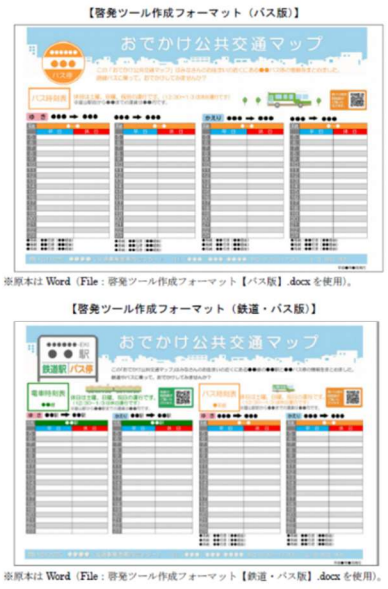
〈ステップ1〉戸別訪問の計画
・1名の担当職員で約2か月を想定。

〈ステップ2〉戸別訪問の準備
・1名の担当職員で約2週間を想定。

〈ステップ3〉戸別訪問の実施
・戸別訪問の期間：約1 ヶ月の期間で、
　戸別訪問を10日間程度実施を想定。
・戸別訪問の訪問数：500 世帯程度。
　（うち面会世帯数：150 世帯程度）
・1世帯当たりの面談時間は10分程度
・2名1組で1日20～30軒の訪問を想定
【参考：H30実績】
・約1 ヶ月で、戸別訪問を19 日間実施。
・1,032 世帯を訪問し、341 世帯を面談。
・（不在691 世帯には、利用啓発ツールを投函。）
・実施時間は半日（3 時間）×33 回＝延べ99時間。
・動員人員は33回×2名＝延べ66名。

〈ステップ4〉フォローアップ
・1名の担当職員で約2か月を想定。

☆戸別訪問で活用する啓発ツール作成フォーマットの提案



〈ツール作成フォーマット〉

○啓発ツール作成の必要性
必要性1 対象エリア内住民に啓発ツールは好評です
※啓発ツールを有益な情報と感じた人は9 割を占めます。（H30実績）

必要性2 公共交通を利用したことがない住民にとって啓発ツールは意識醸成・行動変容のきっかけとなります
※啓発ツールで公共交通の情報（運行時間帯、運行本数、運行路線マップなど）を知ることで、移動手段の1 つとして認識してもらいます。

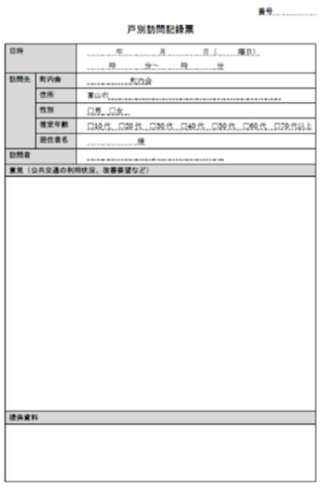
必要性3 戸別訪問の際に啓発ツールを活用すると話が進めやすいです
※戸別訪問の実施概要は以下のとおりです。「②動機づけ！」において、居住地近くのバス停や駅の情報を基に話を進めるため、啓発ツールがあると便利です。

〈戸別訪問の実施概要〉
① 話を聞く！
・公共交通の利用状を確認します
② 動機づけ！
・公共交通の利用状況別に動機づけを行います
※例：利用が少ない人には、どんな時に公共交通が利用できそうか考えてもらいます
③ 情報提供！
・相手に合わせた情報を提供します

☆事前案内や訪問記録票等の作成例を掲載

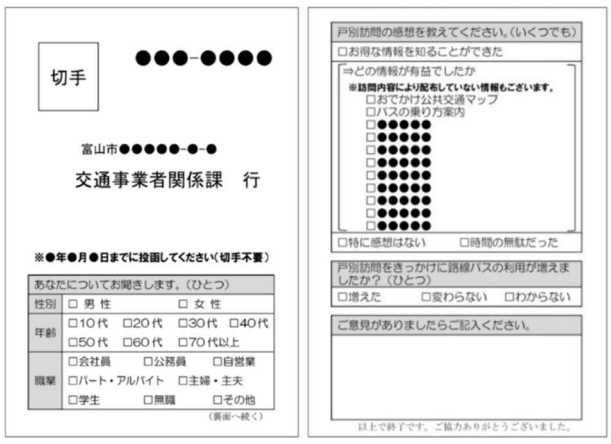
〈事前案内の作成例〉

〈訪問マップの記載例〉



〈訪問記録票等の様式〉

〈不在票の作成例〉



〈事後調査票の作成例〉

5．事業評価

①実施地区で公共交通の利用者が増加傾向にある ⇒ 戸別訪問による利用啓発活動の効果を確認

②複数の戸別訪問方法を試行し、交通事業者の負担を考慮した方法を検討 ⇒ 効率的な利用啓発活動の確立

③交通事業者に対し、市としてどのような支援をすべきかを検討 ⇒ 実現可能な協力体制と支援策の確立

④交通事業者と市が協力して利用啓発活動を実施する素地の形成 ⇒ 利用啓発活動に対する意識と一体感の醸成

⑤事業推進ﾏﾆｭｱﾙ「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」を作成 ⇒ 他の交通事業者への普及推進策の確立

6．「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」は、ホームページでの公開中

・「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」
・「啓発ツール作成フォーマット」
・「自治会等への事前案内資料」
・「戸別訪問記録票」
・「戸別訪問時の不在連絡票」
・「事後アンケート」等の各サンプルについては、
本市ホームページで公開し、二次利用が可能！！

富山市　戸別訪問　検索

「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」について

（１）概要
「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」は、平成２８年度から平成３０年度までの３カ年にわたり、本市が交通事業者と協力して戸別訪問等による公共交通の利用促進活動を実施した「駅・バス停別利用促進啓発事業」の実績を基に作成しました。

本手引きは、交通事業者が主体的となって、利用啓発ツールを活用した戸別訪問による利用啓発活動ができるように、具体的な手法や実施のための着眼点・留意点などをまとめたものです。

（２）手引きと各種参考フォーマットについて
「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」及び手引きに掲載されている啓発ツールの作成フォーマット等は、下記からダウンロードして、公共交通の利用促進活動にお役立てください。

【手引きのダウンロード】
○「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」　（3,200kbyte）

＜各種参考フォーマット＞
・啓発ツール作成フォーマット【バス版】　（1,602kbyte）
・啓発ツール作成フォーマット【鉄道・バス版】　（2,715kbyte）
・【啓発ツール作成例】A4・両面　（303kbyte）
・【啓発ツール作成例】A3・両面　（1,496kbyte）
・自治会等への事前案内資料　（1,303kbyte）
・戸別訪問時の不在連絡票　（50kbyte）
・戸別訪問記録票　（15kbyte）
・事後アンケート　（31kbyte）